

平成 25 年度 町 政 懇 談 会 記 録

日 時：平成 25 年 7 月 10 日(水)

開 会：午後 7 時 00 分

閉 会：午後 8 時 24 分

場 所：笹尾東小学校体育館

参加者：29 名（男 18、女 11）

- 1 開会（政策課長）（午後 7:00）
- 2 町長挨拶
- 3 町側出席者紹介
- 4 「東員町の財政状況」について説明（財政課長）
- 5 「ごみの減量化に向けて」について説明（環境資源課室長）
- 6 質疑応答

西 1 男性… P 9 可燃ごみ量の推移で、平成 19 年度 3,985 t から 20 年度で 4,115 t と 130 t 増えた理由をお答えください。

環境資源課室長… 容器包装リサイクル法（容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律）の改正によりまして、これまでプラスチックごみとして分別されておりましたおもちゃ等のプラスチック製品とかも可燃ごみとして処分されるようになりましたので、その分が増えております。

東 4 男性… 42 歳で引っ越してきて、32,3 年経つ。東員町は、住みやすい良い町であるが、住民の高齢化に伴い税収は減る一方福祉等の支出が増え、財政は先細りである。

笹尾・城山は各戸回収を行っているが、これらもごみ処理費を増やしている原因の一つではないか。

ごみの減量化について説明をしてもらったが、みんなで水切りをしてもらったら、これだけのお金が減るというような説明のほうありがたい。

環境資源課長…ご提案ありがとうございます。この後、各地域にお邪魔させていただく予定でございます。今、ご提案いただきましたような数字等につきましても、その時にご提示できればと考えておりますので、よろしくお願いします。

東 2 男性…粗大ごみについて、東員町は恵まれておりまして、持ち込めば、無料で処分いただけますが、他の自治体に確認すると、無料というのはなかなかない。いつまで無料で処分させていただけるのか、個人の費用が必要になる日が来るのかどうか、お聞かせ願いたい。

環境資源課長…当然、近隣市町では有料化となっているところが多くございます。東員町としましても、できる限り住民の負担がないようにと思っておりますが、検討が必要な時期に来ているのかなと考えております。

東 2 男性…一般会計支出の中で、ごみ処理関係の支出はどれくらいでしょうか？

財 政 課 長…本年度の一般会計予算が 70 億円強でございます。そのうちの 4 億円ほどということで、5.7%という比率になっております。

東 2 男性…この割合というのは、近隣市町村と比較して、どのようなレベルでしょうか？

環境資源課長…近隣と比較ということですが、現在東員町では、1 人当たりのごみ処理費用を約 15 千円とお答えさせていただいておりますが、東員町と人口が類似している全国の団体が 140 団体ほどありますが、この平均額約 17 千円と比較しますと、少し低いのかなというところです。

(県リサイクル課)

課長 …先ほど、ごみ処理費用のご質問の中で、5%強というご説明がありましたが、そのうちの1~2%くらいは、昔建設したごみ処理施設の費用を返すために使われています。

全国ベースで考えますと、ごみ処理の費用は平均的な数値と言えますが、ごみ処理の費用は皆さんが努力すれば、その分だけ減らすことができますので、今回このような問題に付き合わせていただきながら、東員町の取組みを応援させていただいておりますので、よろしくお願いいたします。

西 1 男性…R D Fの建設費118百万円とありますが、施設は平成32年に閉鎖、建設費の返済はいつまで続くのか？

環境資源課長…返済期限の多くは平成29年度で、最長で37年までとなっております。

城 1 男性…冒頭の町長のあいさつの中で、平成32年度に三重県がR D Fから撤退することによって、今の事業が廃止されます、と聞きました。

今現在、何の計画もないまま、R D Fを存続させるのか、ごみ焼却施設を作るのか、町民1人当たり15千円かかると言われる処理費用を1人1人渡すのか、平成32年度以降のごみ処理をどのようにお考えかお聞かせいただきたい。

町 長 …三重県は、平成32年度以降のR D F発電事業から撤退するということを発表しました。現在、桑名市・いなべ市・木曾岬町・東員町の2市2町で桑名広域ということで、ごみ処理をして固形燃料を作り、隣の三重県（企業庁）の施設で燃やしております。

今までどおりR D Fを作りどこかへ売るか、桑名広域で新たな焼却施設を作るか、また徹底的なごみ減量を図り、町単独で小さな焼却施設を作るか、可能なことを一つ一つ検討しておりますが、平成33年度以降のごみ処理を考えていく

えで、今年中にこの結論を出さないと、間に合わない時期に来ている。

しかしながら、町単独という選択もありますが、土地の選定・決定、環境アセスに係る調査等を考えると現実的に難しいし、実はいなべ市も脱退する意思を表明しているので、桑名市・木曾岬町・東員町の1市2町で、今秋ぐらいには結果を出したいと考えておりますので、ご理解をいただきたい。

また、この件に関して、三重県の責任はどこにあるのか、ということをお願いしていきたいと思っております。

たいへん厳しい時間の中で、結論を出さなければならないことをご理解下さい。

城 1 男性…時間がないということはじゅうぶん承知しており、当然方向性をお聞かせいただけるものと思っていましたが、なかなか言っていけないので、質問させていただきました。このような中で開催される説明会であるからこそ、町民の意見が大事ではないかと思います。

また、先ほどR D Fの責任問題が出されましたが、当時、夢の施設と言われたあの施設が、採算が取れなくなったからもうやめますというのは、あまりにも無責任ではないか。今日、県の職員がいなかったら言うつもりはなかったが、どのような経緯でこのような話になったのかお答えください。

町 長 …年に2回、知事、県の幹部、29市町の首長が集まる会議があり、前回今年の3月の終わり頃に開催された時に、R D F事業からの撤退について、当時の知事ではないが、どうお考えかお聞きしたところ、「私にも責任があります。短い時間の中で、県に何ができるか、真剣に考えていきたい。」と言われました。

R D F事業に関係する14市町・事業組合で構成する会議が平成23年3月に開催されたそうです。私は、4月に就任したのですが、その年の3月以来ずっと2年間開催されていないようなので、早急に開催していただくよう要請していま

す。今年の 3 月にお願いしておりますが、4 ヶ月経ちますが、召集はありません。

早急に開催していただいて、公式の場で、東員町としての立場・意見を、皆さんの代表としてきちっと述べさせていただきたいと思っております。私は、一步も引くつもりはございません。結論はどのようなになるかわかりませんが、ぜひともご信頼ください。

城 1 男性…今後、平成 32 年以降の代替施設について、方向性が決まった段階で、またこのような説明会を開かれるのでしょうか？

副 町 長…事務レベルでの話をさせていただきます。

今現在も桑名広域については、一部事務組合として存在しておりまして、その構成員として東員町も町長が出席いただいております。その中で、平成 32 年度以降のことについて議論していただいている最中で、数日前にも「ごみ処理の在り方検討会」におきまして 1 年間検討してきたことがございまして、桑名市・木曾岬町・東員町の 3 市町で 200 t の処理ができる施設を一緒にやっていく方向でどうでしょうか、という程度の答申が出ております。

これについては先頃、議会全員協議会の中でもご説明させていただき、町としての態度を早く決めようという話になりまして、9 月よりも前には腹をくくらなければならない時期が来るだろうと思っております。

このこともありまして、先ほども単独か広域かという議論もありましたが、町長も申しましたが、単独でやるのは非常に難しく、現在の広域でやっていくのがいいのでは、という議論をしております。

これについては、東員町として、当町の議会にも結論を出して、その方向を報告したいと思っております。今現在はこのような状況ですので、もしこの結論、プロセス等については、今後も議会等には必ず報告してまいりますので、そう

いう意味では、情報発信したいと思っております。

それと、一般廃棄物については、法律で町がやらなければならないと決まっておりますので、15 千円をお返しして各自でという訳にはいきませんので、町が責任を持ってやっていくことになります。

その中で、R D F の話とは別に、ごみ処理経費はみんなですべて少しでも減らしていこう、という今日の説明会ですので、冒頭に町長が R D F の話をされたことで、混乱させてしまいました。

しかしながら、いずれにしましても平成 32 年度以降、市町が責任を持って作っていかなければならないので、なるべく経費がかからない方向で、かつ私達もなるべくごみを出さないようすることに努める必要があると思いますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

7 閉会（政策課長）（午後 8:24）